

長野県佐久市浅科小学校4年生 五郎兵衛用水発電所の見学会

地域とともに学ぶ未来の力

■ 「五郎兵衛用水」ってなに？

江戸時代、この地域の水不足を解決するために造られた用水路「五郎兵衛用水」。先人たちの知恵と努力により、今もなお地域の農業を支えるこの水路は、歴史的価値の高い資産です。子どもたちは、その背景を学びながら「水の大切さ」「水を活かす工夫」に触れることができました。

■ 信州大学・飯尾先生が教えてくれた「技術の力」

見学では、信州大学工学部の飯尾昭彦准教授にもご協力いただきました。飯尾先生は、「小水力発電とは何か」「どのようにエネルギーに変換されているか」という技術的な視点から、子どもたちにもわかりやすく解説してくださいました。模型やスライドを用いながら、水の流れがどうやってタービンを回すのか、発電の効率と自然への配慮など、専門的な内容を丁寧に伝えていただき、子どもたちも真剣な表情で聞き入っていました。

■ ドローンで上空から見よう！

施設の全景や五郎兵衛用水の流れをドローンで撮影し、リアルタイムで映像を共有。俯瞰からの映像で、施設と自然の関係性を「上から見る」視点で体験できたことも、貴重な学びとなりました。

■ 地域の未来を担う子どもたちへ

今回の見学を通じて、子どもたちは「地域の資源」「自然と共生する技術」「再生可能エネルギー」について深く学ぶことができました。この体験が、地域への関心や将来の進路選択にもつながるよう願っています。

